

第33回 日本臨床化学会近畿支部総会

第75回 日本臨床化学会近畿支部例会

日時：2024年3月9日（土）

場所：兵庫医科大学 教育研究棟 201 講義室

☆☆

テーマ： 免疫化学検査室が今、考えるべきこと

－【未来型】検査室への布石－

プログラム

10:00～ 受付

10:15～10:20 開会挨拶

10:20～11:00 一般演題 （発表7分 質疑応答3分）

座長 竹橋 正則 （神戸学院大学）

佐藤 伊都子 （神戸大学医学部附属病院）

① 「一卵性双生児を対象とした遺伝子発現量と白血球分画数の関連解析」

川上 莉歩（大阪大学大学院）

② 「自然毒成分 α -ソラニンと α -チャコニンを検出するELISAの構築」

岡田 光貴（京都橘大学）

③ 「地域包括ケアシステムを見据えた精度管理調査解析方法の取り組み」

渡邊 勇氣（神戸大学医学部附属病院）

④ 「MALDI-TOFMS法による尿中 Bence Jones 蛋白の検出」

上田 一仁（関西医療大学）

11:00～12:00 若手育成委員会シンポジウム

－若手会員が日常業務を研究成果に繋げるコツ－

座長 岡田 光貴（京都橘大学）

① 「日常検査で疑問に感じた症例を追求する」

余村 求（天理よろづ相談所病院）

② 「ルーチン検査での違和感から検討（研究）テーマを見つける」

中渡 一貴（東京大学医学部附属病院）

12:00～ 休憩 10分

12:10~13:10 ランチョンセミナー

座長 豊田 利恵子 (大阪急性期・総合医療センター)

三好 雅士 (徳島大学病院)

- ① 「IgG 結合(親和性)IgM 型 M 蛋白が引き起こした IgM 偽低値発生のメカニズム」
～生化学検査データの妥当性を考える～

井本 真由美 (近畿大学病院)

- ② 「反応過程解析ツール MiRuDa のご紹介」

株式会社日立ハイテック

近畿支部役員会 (教育研究棟 202 講義室) 12:10~13:00

13:10~ 休憩 10分

13:20~13:45 総会

13:45~ 休憩 5分

13:50~15:50 シンポジウム

免疫化学検査室が今、考えるべきことー【未来型】検査室への布石ー

座長 増田 詩織 (近畿大学奈良病院)

上野 智浩 (大阪大学医学部附属病院)

- ① 「再検査を考える ー再検をゼロに近づけるためにはー」

岡崎 一幸 (京都大学医学部附属病院)

- ② 「パニック値報告を考える ースマートな報告体制をめざしてー」

繁 正志 (大阪医科薬科大学病院)

- ③ 「検査結果の付加価値を考える ー第一発見者としてやるべきことー」

雪松 里佳 (兵庫医科大学病院)

- ④ 「時代にマッチした精度保証を考える ー新しい精度管理のかたちー」

畑中 徳子 (天理大学)

15:50~ 休憩 10分

16:00~17:00 特別講演

座長 上田 一仁 (関西医療大学)

「未来の化学免疫検査室の一員へ ー質量分析は免疫化学の新規ツールとなる!ー」

中西 豊文 (修文大学)

17:00~ 閉会挨拶

臨床化学会近畿支部長 上田 一仁 (関西医療大学)

★お願い★

食品ロス削減のため、ご来場者数を把握したいと思います。下記 URL もしくは QR コードより Google Form にアクセスいただき
できるだけ **3月3日**までに
ご回答くださいますようお願い申し上げます。



<https://forms.gle/w7dqhCDZg3NmiJbu6>

- 参加費無料
- 非会員の方のご参加もお待ちしております

会場：兵庫医科大学教育研究棟201講義室

